

2005年12月20日

い し ず え

全損保日動外勤支部首都分会 教宣部ニュース 06-4

12・6東京海上日動社包囲総行動に参加

首都分会は、12月6日、東京海上日動社包囲総行動に参加しました。当日は快晴の空の下、午前11時から日本橋と大手町（本社前）の2班に別れビラ宣伝行動を行い、引き続き、昼休み本社前抗議行動に参加をしました。

前回（11月18日）は朝ビラの後、午前中に都労委というスケジュールでしたが、今回は都労委が午後開催ということで、本社前の昼休み抗議行動が組み込まれ、全損保本部、全損保各支部、近隣分会、さらに金融共闘などからも多くの参加者があり、私たちのたたかいが、多くの仲間の支持を得ていることを実感するとともに、皇居前・丸の内のビル街にこだまする力強い激励の挨拶とシュプレヒコールに勇気と元気をもらった時間となりました。

私たちの怒りの声に本社ビルの窓際に集まった多くの顔、顔、顔が、この抗議行動の注目度を語るなか、引き続き、全損保代表団が抗議要請に本社ビルに向かった際には一層大きな拍手が沸き起こり、経営の冷たい対応とは対照的に、本社前は熱気に包まれました。

前回のビラ宣伝行動に引き続き、過剰とも思える会社側の反応は、私たちの行動を気にしている証左ともいえ、私たちが求めている誠意あるスタンスに向け、経営にインパクトを与たものといえます。

その後、社前抗議の熱気をそのまま、3時からの都労委での調査傍聴に持ち越し、当日の分会の行動は終了しましたが、当日の総行動は引き続き夕刻から行われた、支部の団体交渉への大きな支援となり、経営に対するプレッシャーとなったことは間違いありません。

現在、経営はかたくなな姿勢を変えようとはしていませんが、支部の追及に少しずつ本音を漏らし始めるなかで、矛盾も明らかになっています。当面の目標である「1月募集開始の延期」「転進希望者以外の条件の開示」など私たちの要求に向け、経営の姿勢を変えさせるために、首都分会は今後とも全国の契約係社員の皆さんとともに行動していきます。

全国の契約係社員の皆さん、怒りをエネルギーとともに行動を起こしましょう。